



ポーランド・日本投資フォーラム

開催日時: 2025 年 9 月 30 日 (火) 9:00 ~ 16:30

開催場所: ヒルトン大阪

ご参加をご希望の際は、下記の参加登録フォームに必要事項をご記入いただき、9月15日までにお申し込みください。

<https://www.paih.gov.pl/en/conferences/registration-polish-japanese-investment-forum/>

第1部	
会場: 桜園 (OH-EN)	
9:00-10:00	受付 / コーヒーサービス
10:00-10:40	歓迎の挨拶
10:40-10:50	二国間協定の署名
10:50-11:10	プレゼンテーション 1 「なぜポーランドなのか? 中央ヨーロッパと東欧への戦略的な扉 - 安全性、安定性、将来性」
11:10-11:30	プレゼンテーション 2 「ヨーロッパにおける日本の主な投資先および分野」
11:30-12:00	パネルディスカッション 「21 世紀の日本とポーランド: グローバルな課題における戦略的パートナーシップ」 このパネルディスカッションでは、ポーランドと日本の二国間における現在の経済・政治・技術的關係に焦点を当てます。 参加者は、エネルギー転換、サプライチェーンの安全保障、技術革新、ならびにインド太平洋地域および中央・東ヨーロッパにおける共同イニシアティブといった観点から、両国間の協力の将来像を多角的に分析します。 とりわけ、長期的な戦略的パートナーシップの構築における投資、ノウハウの移転、相互理解の促進の重要性に注目します。



12:00-12:30	パネルディスカッション 「ポーランドはウクライナへのそしてその地域への扉：中央ヨーロッパと東欧の安定と発展のための日本の投資」 このパネルディスカッションでは、ウクライナの復興計画における潜在的な投資分野をご紹介します。 ポーランドは、地域の近隣国として、インフラの再構築、通信ネットワーク、エネルギー、軍需産業、住宅建設などを含む各種プロジェクトの実施を計画しています。本ディスカッションの目的は、日本企業および日本の公的・国家機関が、これらの取り組みに参画するためのニーズや可能性を分析し、中央ヨーロッパおよび東欧地域の安定と発展に向けた協力の分野を特定することにあります。
12:30-13:30	昼食

第2部

13:30-16:15	B2B 会合 会場：桜華 (OH-KA)	
	宇宙産業部門について 会場：グラスルーム (Glass Room)	
	会場：桜園 (OH-EN)	会場：桜山 (OH-ZAN)
13:30-14:20	セッション 1 「日本とポーランドの協力基盤としての戦略的インフラ投資：港湾、鉄道、空港およびポーランドの公共調達制度における開発ファンドー」 このセッションでは、日本とポーランドによる戦略的インフラ投資の協力可能性について議論します。対象は、港湾施設や鉄道輸送網の近代化、航空インフラの発展、さらには BGK (国立経済銀行) などのファンドによる支援を通じた投資プロジェクトに及びます。	セッション 2 「日本とポーランドの宇宙探査における協力：イノベーション、技術と新たな可能性」 ポーランドは、宇宙分野においてアジア諸国との協力を着実に進めており、国際的な研究プロジェクト、技術交流、共同衛星開発などに積極的に関与しています。2019 年には、ポーランド政府関係者が宇宙航空研究開発機構 (JAXA) との会談に出席し、人工衛星技術や月面探査に関する協力の可能性について意見交換を行いました。日本の宇宙産業は世界有数の技術力を有し、JAXA は革新的か



	参加者は、資金調達モデル、持続可能な技術、ベストプラクティスに加え、ヨーロッパおよびアジアでの経験に基づく官民パートナーシップ (PPP) の可能性について意見を交わします。また、ポーランドの公共調達制度における法的・制度的条件を踏まえ、具体的な投資機会と課題についても検討します。専門家は、入札プロセスの競争性や手続きの透明性、さらに外国企業、特に日本企業が大型インフラプロジェクトに参入する可能性について議論を深めます。議論はさらに、PPP の成功事例、公共資金の効果的活用、国家資本と民間資本の相乗効果といった観点にも及ぶ予定です。	つ野心的な探査プログラムを推進しています。こうした取り組みは、国際的な研究ミッションへの参加を目指すポーランドの企業や研究機関にとって、大きな機会をもたらしています。本セッションでは、これまでの日・ポ間における宇宙探査分野での協力実績を振り返るとともに、今後の新たな協力イニシアティブを紹介し、両国の相互ニーズや期待に基づく将来的な連携の可能性を多角的に分析します。
14:20-15:10	セッション 3 「グリーン・トランスフォーメーションとスマートシティ：ポーランドにおける持続可能な発展の基盤としてのエネルギー」 このセッションでは、エネルギー分野が都市の未来を形成する上で果たす役割に焦点を当てます。特に、ESG (環境・社会・ガバナンス) への対応が求められる中でのエネルギーの重要性を検討します。議論の主なテーマには、再生可能エネルギーの導入、脱炭素プロジェクト、水素技術の活用、そして都市部におけるスマートエネルギー管理システムの開発が含まれます。 ポーランドと日本の専門家が、クリーンエネルギーやエネルギー効率の向上、都市計画・インフラ整備といった分野での先進的な技術と投資協力の可能性について意見を交わします。また、グリーンプロジェクトに対する資金調達の手法や、気候変動対策の実現に向けた国際的パートナーシップの役割についても議論される予定です。	セッション 4 「人的資本としてのポーランドの優位性：次世代産業を担う高度人材の育成と活用」 このセッションでは、高度なビジネスサービス (BSS) 、IT、ゲーム開発をはじめとする知識集約型産業におけるポーランドの専門拠点としての重要性の高まりについて議論します。 専門家は、専門職の人材供給状況、賃金動向、技術教育の質、さらには労働市場における外国人労働者の増加や外国人雇用に関する規制の課題について話し合います。 参加者は、経済の安定性や労働コストの優位性、イノベーション文化の形成などの観点から、日本企業にとって魅力的なニアショアリング拠点としてのポーランドの役割にも注目します。



15:10-15:25	コーヒープレイク	
15:25-16:15	セッション 5 「半導体、AI、デュアルユース技術：先進電子工学分野における日本とポーランドの新たな協力の場」 人工知能（AI）、エッジコンピューティング、データセンターなどの先進的なデジタル技術の発展は、近代的な電子回路および半導体技術へのアクセスと切り離せない関係にあります。日本とポーランドは、供給の安全性やデュアルユース（民間および軍事利用）という文脈において、これらの技術のグローバルバリューチェーンにおいて補完的な役割を果たすことが可能です。 パネルディスカッションでは、研究開発の協力、ノウハウの移転、製造インフラの構築、イノベーション・エコシステムの支援の可能性について議論します。また、規制面や地政学的な側面、戦略的投資、技術的安全保障の役割についても意見交換が行われる予定です。	セッション 6 「ポーランド：アジアの投資家が注目する資本市場と商業不動産へのヨーロッパの扉としての役割」 ポーランドの資本市場および商業不動産セクターは、投資ポートフォリオの多様化、マクロ経済の安定性、魅力的なリターンという観点から、特にアジアの投資家からの関心が高まっています。本セッションでは、ポーランドが地域の金融ハブとして持つ潜在力やREIT（不動産投資信託）の成長見込み、オフィス市場、倉庫市場、複合用途市場、さらにインフラファンドおよびプライベートエクイティの役割について議論する機会を提供します。

第3部

会場：桜園（OH-EN）

16:15-16:30	閉会の挨拶
-------------	-------